

平成 30 年 3 月 1 日
特定非営利活動法人 屋久島うみがめ館
代表 大牟田 一美

告知

当法人解散の決議について

3 月 1 日の臨時社員総会において、特定非営利活動法人屋久島うみがめ館は平成 30 年 12 月末をもって解散する旨の決議を行いました。

これにて解散に向けての事務処理を行い、12 月に再び臨時総会を開催し、解散の決議をした後、活動に終止符を打ちます。

33 年の間、海浜の保護と国立公園の登録、ラムサール条約湿地登録、エコパーク登録などに貢献しました。また、ウミガメのシーズンに夜を通しての調査・保護活動によって、ウミガメの数を約 9 倍以上に増やし、調査データは世界的にも認められるようになりました。そのような活動に国内外から 1,000 人以上の人達がボランティアとして参加していただきました。

自力での展示資料館(うみがめ館)の建設によって広くウミガメやそれらを取り巻く環境などの啓発活動に貢献してきました。

しかし、この度代表の体調不良、事務局スタッフの不在と後継者不在により、これ以上活動を継続して行うことが困難との判断をし、今回の決議に至りました。

平成 30 年 12 月に至る解散までの期間、できる限りの調査・保護活動は行う予定であります。屋久島永田浜を中心としたウミガメの調査・保護において当法人が永年尽力してきましたが、当法人の解散によって、ウミガメ類の保護（ウミガメと卵の保護）、夜間を通しての啓発などが疎かになり、浜が荒れ、産卵率の低下や海に帰る子ガメの率も低下し、将来ウミガメの減少につながるものが危惧されます。

今後は行政機関や関係機関が本腰を入れてウミガメの保護に取り組むことを望んでいます。昔はウミガメが多く上陸してきた浜だったのに・・・とならないように、切に願う次第です。

長期に渡ってご支援していただいた皆様に心からの感謝の意を表します。ありがとうございました。

以上